

東アジアにおける共同労働慣行

—イメージの問い直しと新たな研究課題を考える—

2018年2月13日(火)

会場 東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館ホール(地下1階)

開場 13:00～ 講演 13:30～17:30

プログラム

13:30～15:00

遠藤 健悟 (東北学院大学アジア文化史専攻博士後期課程3年)

宮城県大崎耕土のユイとテマドリ

—大崎市三本木新沼の事例より—

真柄 侑 (東北学院大学アジア文化史専攻博士前期課程2年)

奄美沖永良部島のイータバと刈り取り班

—和泊町内城の事例から—

15:00～15:10 休憩

15:10～16:30

阿利 よし乃 (沖縄国際大学非常勤講師)

沖縄県波照間島の共同労働

—サトウキビ収穫の事例—

岡田 浩樹 (神戸大学大学院国際文化学研究科教授)

朝鮮半島の共同労働と「仲間」

—ツレ・プマシ・契と父系親族関係—

16:30～16:45 休憩

16:45～17:30

パネリストによるディスカッション

(コーディネーター: 政岡伸洋)

■主催 東北学院大学アジア流域文化研究所

■備考 入場無料・申込不要

■問い合わせ先 東北学院大学アジア流域文化研究所 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1

TEL・FAX: 022-264-6370 E-mail: ryuiki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

Web: <http://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/~hicarb/>